

## 双眼鏡で星座を見よう！

大阪のような都会では、星が見えても空全部で10個くらい。とても星座を結べません。ところが、双眼鏡を使うと、見える星の数が増え、星座がわかるようになるのです。双眼鏡で星座を見る。そのポイントをご紹介します。

### お、見えるぞ！ 双眼鏡で星空を見る。

双眼鏡では、肉眼よりたくさんの星が見えます。双眼鏡のレンズが星の光を集め、明るくみせてくれるからです。いま、手近に双眼鏡があれば、試してみましょう。肉眼でははっきり見える星を見て、そのそばに、肉眼では見えない星が見えたら、効果アリということです。

例外は、1000円くらいの「安価なオペラグラス」です。これは、星を見るには向きません。光を集める力が弱く、また、見える範囲が狭まるからです。

### 星座を見るのにおすすめは、ひろびろ見える双眼鏡

双眼鏡は、ありものでいいのですが、もし新しく買うなら、お店で実際にのぞいてみてください。手のなじみかたや目にあうかどうかがあるので、通販をつかうのであっても、現物をさわったほうがよいです。いくつか見比べてみて、できるだけ景色の範囲(実視界)が広く鮮明に見えるものをおすすめです。たいていの双眼鏡は実視界が表示されています(図)。できれば実視界が6度以上あるものを選びましょう。



#### 図. 双眼鏡に表示されている性能

ここでは10×が、10倍の意味。28はレンズの直径で28mm、小さくある5.0°が実視界で5度であることがわかる。倍率が高いほど実視界は狭い。同じ倍率でも実視界が広いものは製作が難しく価格が高いはず。安ければなにか理由がある。

双眼鏡のレンズは大きいほどいいですが、大きすぎると重くて持ちにくくなります。図は非力な著者が旅行に持ち歩くもので小さめのレンズです。直径が25mmから50mmの間で選ぶことになるでしょう。

また、同じようなものなのに、値段が10倍も違うものもあります。高級なものには理由がありますが、のぞいてみて違和感がなく、違いがわからなければ安い方で大丈夫です。



### おすすめの「双眼鏡星座」

ちょっと能書きが長くなりました。この秋、双眼鏡で見るのにおすすめの星座、場所をいくつかご紹介します。目印になる1等星をふくむ場所にしました。

○は、角度で7度の双眼鏡の視野です。動かしながら見れば5度の双眼鏡でも楽しめます。どんな風に見えるのか？ まずは試してみてください。



ステラナビゲータで作図 ○は実視界7度

渡部 義弥(科学館学芸員)